

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立西小学校

1. 本年度の学力・学習調査結果の概要について

- ・国語の「知識」に関する問題では、書くことの領域で改善が見られましたが、読む力に課題が見られました。
- ・国語の「活用」に関する問題では、目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えることに改善が見られましたが、自分の考えをまとめることや必要な内容を整理して書く力に課題がありました。
- ・算数の「知識」に関する問題では、すべての領域で基本的な学習が定着しています。
- ・算数の「活用」に関する問題では、全体的に力がついてきており、特に図形の問題や記述する問題で良好な結果でした。

2. 各教科における成果と課題について

	成 果	課 題
国語 A 〈主として知識〉	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字を読み書きする設問で課題が見られ、さらなる反復練習で定着が必要です。 ・目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むことに課題がありました。
国語 B 〈主として活用〉	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えることで、自分の考えを明確に伝えることができます。 ・登場人物の相互関係や、心情、場面についての描写をとらえることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すことに課題があります。 ・物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることに課題があります。
算数 A 〈主として知識〉	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての領域において全国平均値を上回り、基本的な知識が定着しています。少人数習熟度別指導の成果が感じられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未知の数量を表す口を用いて、問題場面を除法の式に表す設問に課題があります。
算数 B 〈主として活用〉	<ul style="list-style-type: none"> ・示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述することができます。 ・式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し記述する設問もよくできています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを図に表現することに課題がありました。 ・問題の解決のために、示された方法を解釈・表現したりすることに課題があります。

3. 本校の学力向上に関する現在の取組みについて

いきいきとした学級集団・学習集団づくりをめざして

ペア学習・グループ活動



習熟度別授業（少人数指導）



I C T を効果的に活用



すきま時間を使った
自ら学ぶノートの活用



読書活動の活性化



【わくわく】でのたてわり活動



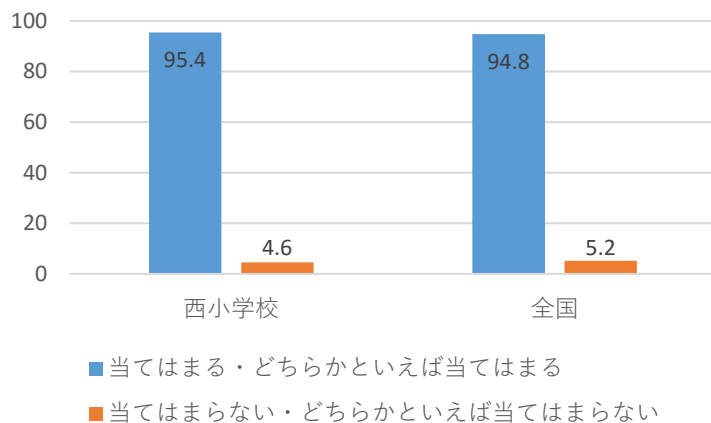
4. 今後の取組みの方向性について

- ・漢字学習を定着できるように、朝学習や宿題、家庭学習で反復練習を徹底します。
- ・家庭学習の全校的な取組みについて企画・提案し、子どもたちの学習習慣の定着を図ります。
- ・自分の考えや解決の時間を十分確保し、自ら考え説明する力を育てます。
- ・ICTを効果的に活用して授業での学習意欲を高め、授業改善に取り組んでいきます。
- ・習熟度別指導（少人数指導）の効果的活用の研究をさらにすすめ、きめ細やかな指導の充実を図ります。
- ・子どもたちが読書の楽しさを味わえる活動を充実させ、読解力や文章表現力を育てます。

5. 児童質問紙調査の結果の概要

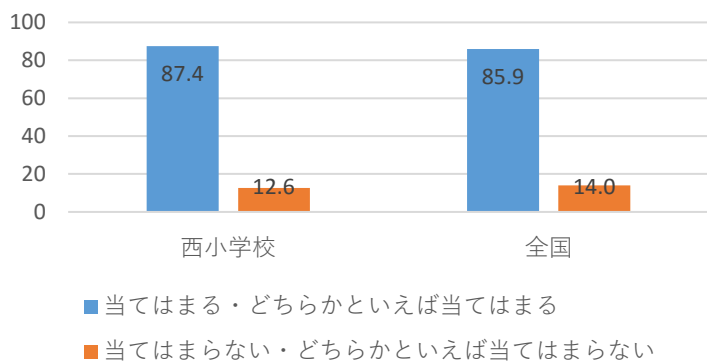
〈取組みの成果があらわれていたり、特徴的であると思われる事項について〉

ものごとを最後までやり遂げて、
うれしかったことがありますか



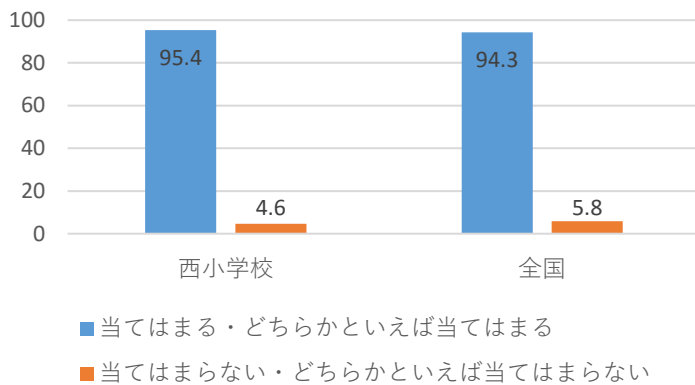
本校では、授業時間中やそれ以外の時間で、児童が主体的に活動する場面を増やして、意欲的に責任を持って取り組む姿勢を養ってきました。学校・学級で協力して、その達成感や「やり遂げる・挑戦する」という意識が全国の平均を上回りました。

将来の夢や目標をもっていますか



本校で取り組んでいる、地域の人を招いての出前授業や、一人一人の社会的・職業的自立に向けてのキャリア教育の取組みが、児童に夢や志をはぐくむ成果として全国の平均を上回りました。

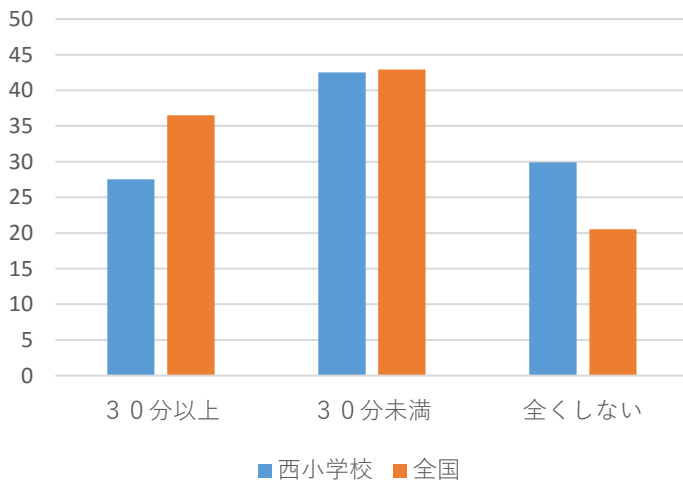
友達の話最後まで聞けるか



グループで話し合ったり、学級全体で話し合ったりするなど、話し合い活動を授業の中に多く取り入れています。自分の考えを深めたりするための大事な学習です。これからも相手の話を最後まで聞ける子どもを育てます。

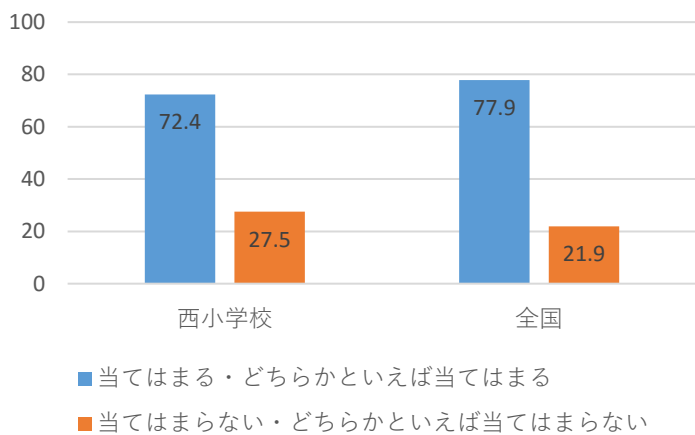
〈今後に向けて、課題と思われる事項について〉

1日当たりの読書量



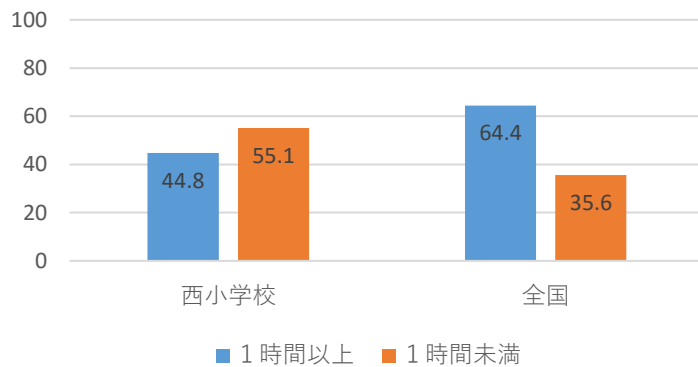
読書習慣や読書量は、読解力と関連します。本校では、30分以上読書すると回答した児童は27.5%で、全国平均を下回っています。また、約30%の児童が全くしないと回答しています。学校では、学級図書整備、読書ノートや読書郵便の取組み、ボランティアによる読み聞かせを行い、読書を推進します。

自分には、よいところがあるか



「自分には、よいところがある」の項目で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」が全国より下回っていました。今後、挑戦力や自尊心を高める活動に一層取組み自主性や責任感を育てることで、子どもたちの自己有用感を高めていきたいと考えています。

学校の授業以外の学習時間(月～金)



「家で宿題をしている」と回答した児童は、約99%で全国平均を上回っています。しかし、家庭での学習時間については、全国平均を下回っています。宿題のほかに、家庭で主体的に自学自習する指導を保護者と連携しながら取り組みを継続していきます。

6. 保護者・児童のみなさんへ

児童のみなさんへ

みなさんはものごとを最後までやりとげてうれしいと感じたり、学級で協力してうれしいと感じたりできています。また、学校へ来るのが楽しく、宿題や授業中の学習態度など、決められたことはきちんとやりとげようとしています。一方で自分からすすんで何かに挑戦したり、自分で考えて学習したり問題に取り組んでいくのが少し苦手なようです。

学校は、みなさんが社会に出たときに活躍できるように学習するところです。いろいろなことに興味を持って、難しいと思うことにも挑戦してみましょう。

先生たちも友達と話し合ったり、自分の意見を発表し合ったりする学習をどんどん取り入れて、みなさんのよいところをきちんと評価していきたいと考えています。読書に親しみ、話し合いや発表に積極的に取り組んでいってください。

保護者のみなさまへ

基本的な生活リズムを整えていただき、子どもたちは元気で楽しく学校へ通えています。

お家でも学校でのできごとを話題にしたり、学校行事に積極的に参加していただいていることが子どもたちのやる気を高めています。子どもたちの自信をさらに伸ばすために、家庭での約束事を守らせ、地域や社会のできごとなどにも関心を持たせて、子どもたちの小さな成長を見守り、励ましほめてくださいますようお願いいたします。